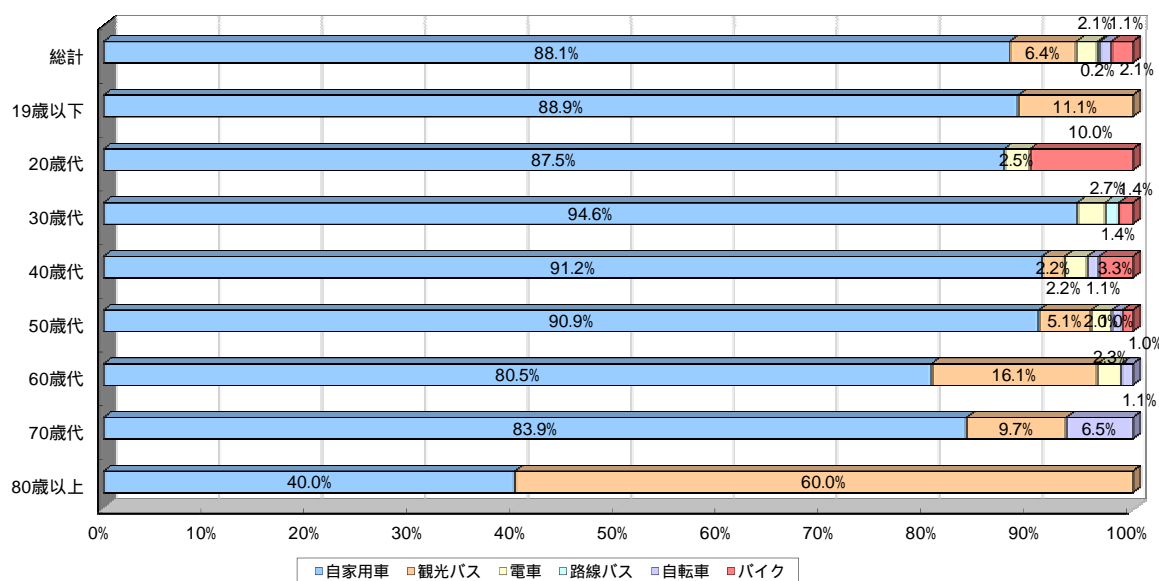


4. 交通手段



全体

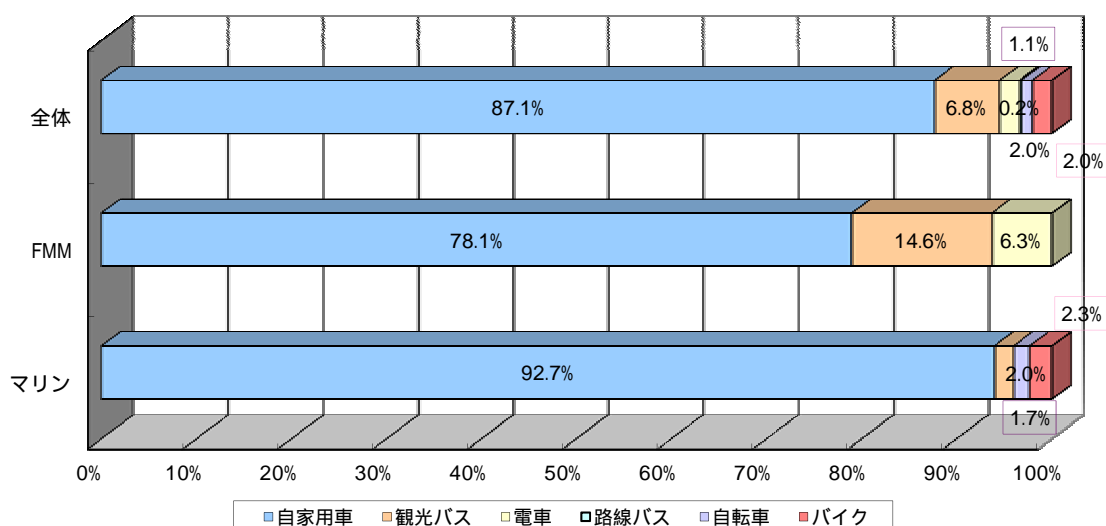
全体では、約 88% が「自家用車」を利用して来訪している。つづいて、「観光バス」だが、1 割に満たない。

年代別

20 歳代～50 歳代までは「自家用車」の利用が 9 割前後だった。

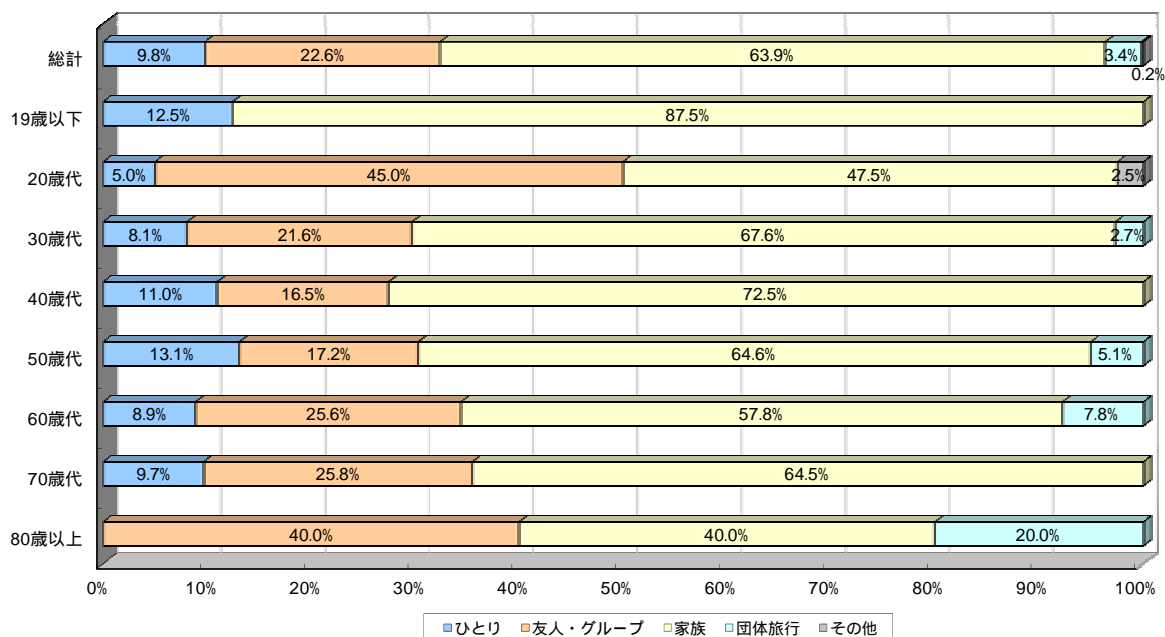
19 歳以下で「観光バス」が目立った。60 歳代では「自家用車」の割合が 8 割を超えるものの、「観光バス」の利用者も約 16% あった。70 歳代では、「自家用車」の割合が高いものの、「観光バス」・「電車」利用の割合が高くなった。

調査ポイント別



調査ポイント別では、フォッサマグナミュージアムでは、「観光バス」や「電車」利用で来訪の方が目立った。一方、マリンドリーム能生では、9 割以上が「自家用車」という結果だった。

5. 同行者



全体

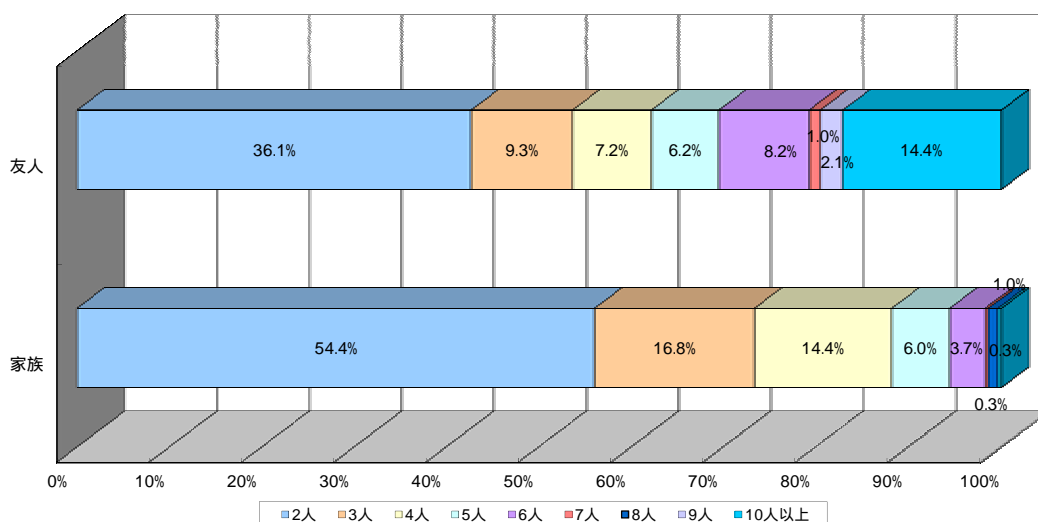
全体では、約 64% が「家族」での来訪、22.6% が「友人・グループ」という、身近なひとと一緒に訪れた方が多かった。

年代別

20 歳代では、「友人・グループと一緒に」が 45% と他の年代よりも目立った。その他の年代では「家族」の割合が多く、「友人・グループ」が続いている。

同行人数

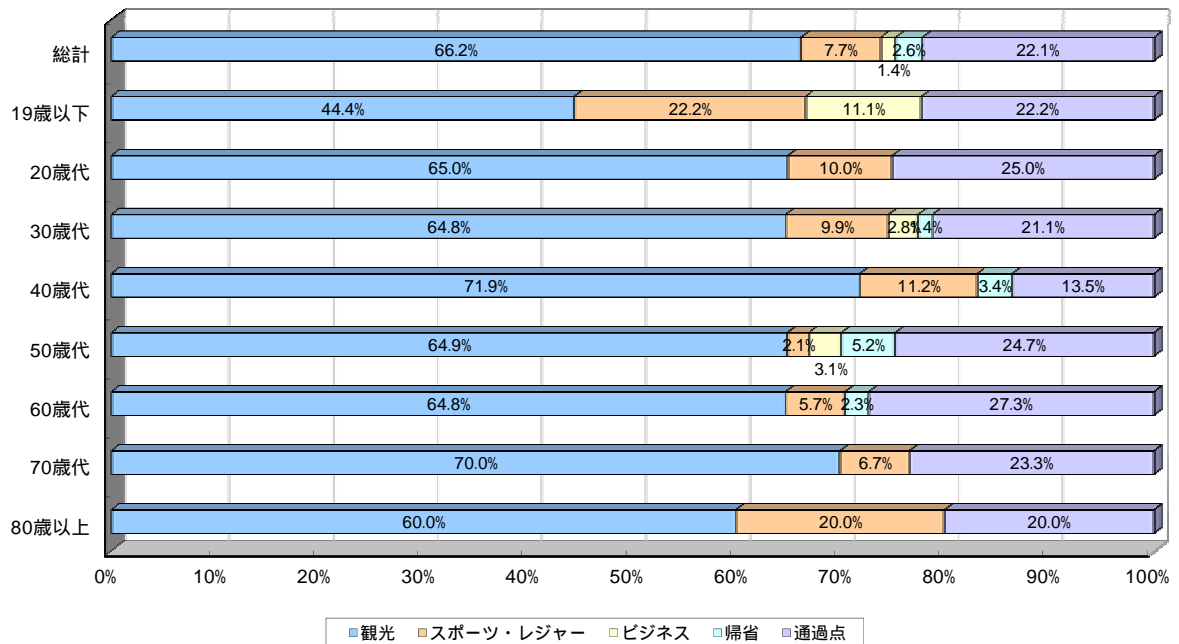
- 「友人・グループ」または「家族」と回答の方に、同行人数をお聞きした。



「友人・グループ」の同行人数は、2 名～ 5 名で 58.5% となり、車 1 台で移動できる人数で行動していることがうかがえる。

「家族」では、54.4% が「2 名」での来訪であり夫婦で行動している方が多いと考えられる。また、3 名～ 5 名の回答の合計が約 37.2% あり、子ども連れの割合も多いと思われる。

6. 来訪目的



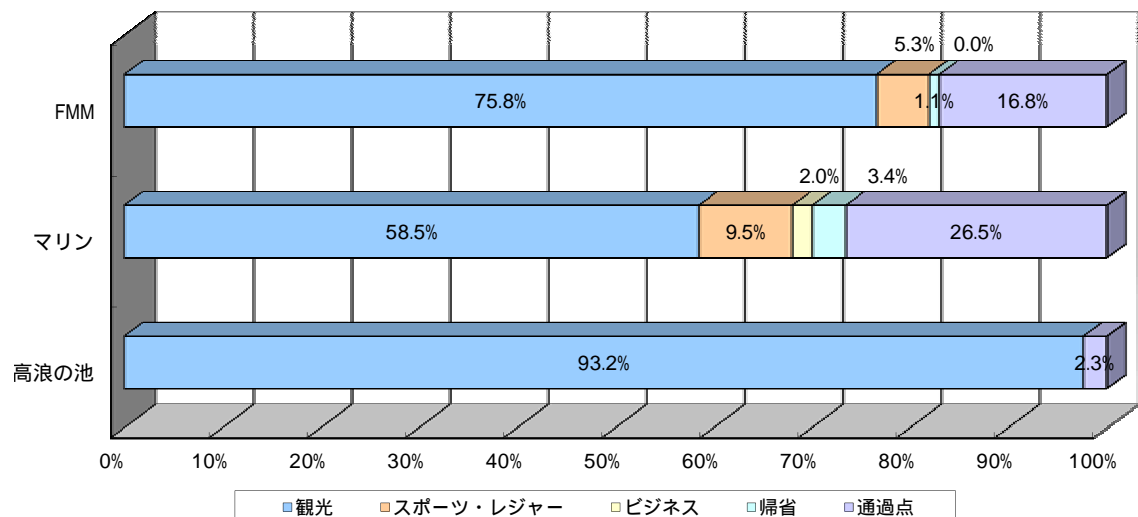
全体

全体では、66.2%が「観光」目的で訪れている。一方で、22.2%が「通過点」で立ち寄った、と回答している。

年代別

40歳代では71.9%が、70歳代では70%が「観光」が目的で来訪している。一方で、20歳代・50歳代では、約25%が、また60歳代では27.3%の方が、「通過点」となっている。また、20歳代・30歳代・50歳代でも20%程度が「通過点」という回答であった。

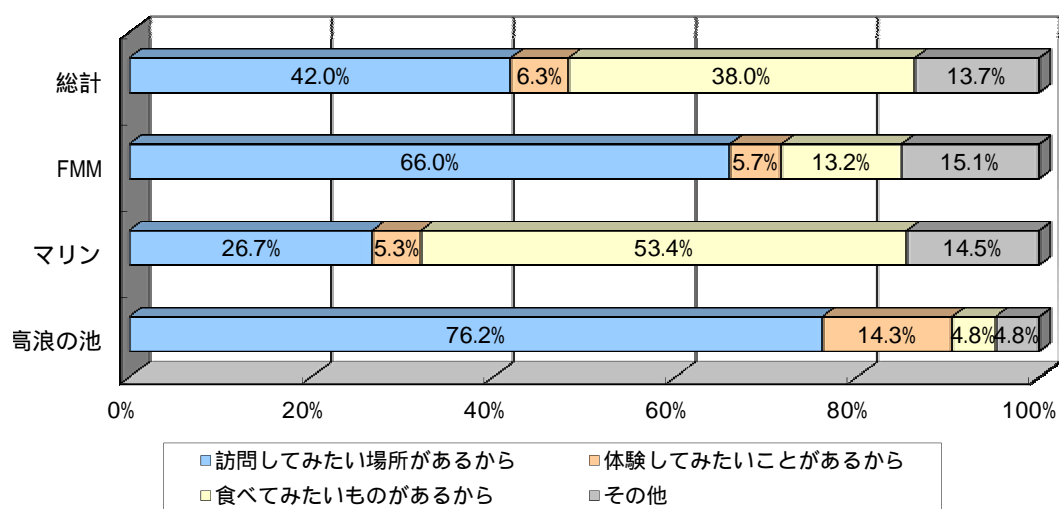
調査ポイント別



調査ポイント別では、フォッサマグナミュージアムおよび高浪の池では「観光目的」の回答割合が高くなったが、マリンドリーム能生では58.5%の回答となった。マリンドリーム能生では、26.5%が「通過点」と回答しており、移動の途中で休憩に立ち寄った、という行動がうかがえる。

来訪目的の内容

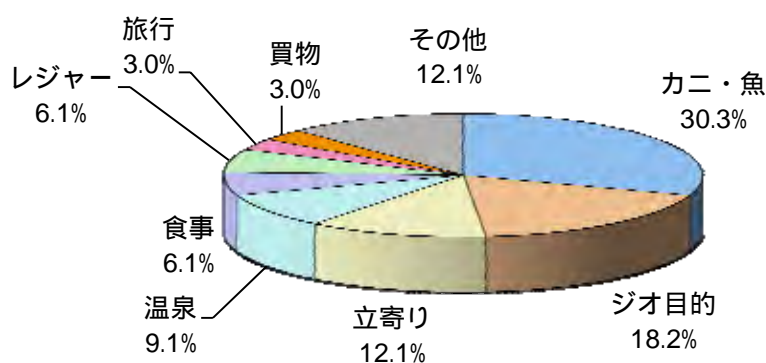
- 「観光」または「スポーツ・レジャー」と回答の方に、その内容をお聞きした。



来訪目的の内容としては、高浪の池では76.2%の方が「訪問してみたい場所があるから」と回答しており、小滝川ヒスイ峡への見学などが目的と考えられる。マリンドリーム能生では「食べてみたいものがあるから」が53.4%であり、カニを目当てに来られている様子がうかがえる。

フォッサマグナミュージアムの「その他」の内容は、市内で行われていたイベント（鉱物展・11/12開催）や石探しなどの理由が多かった。

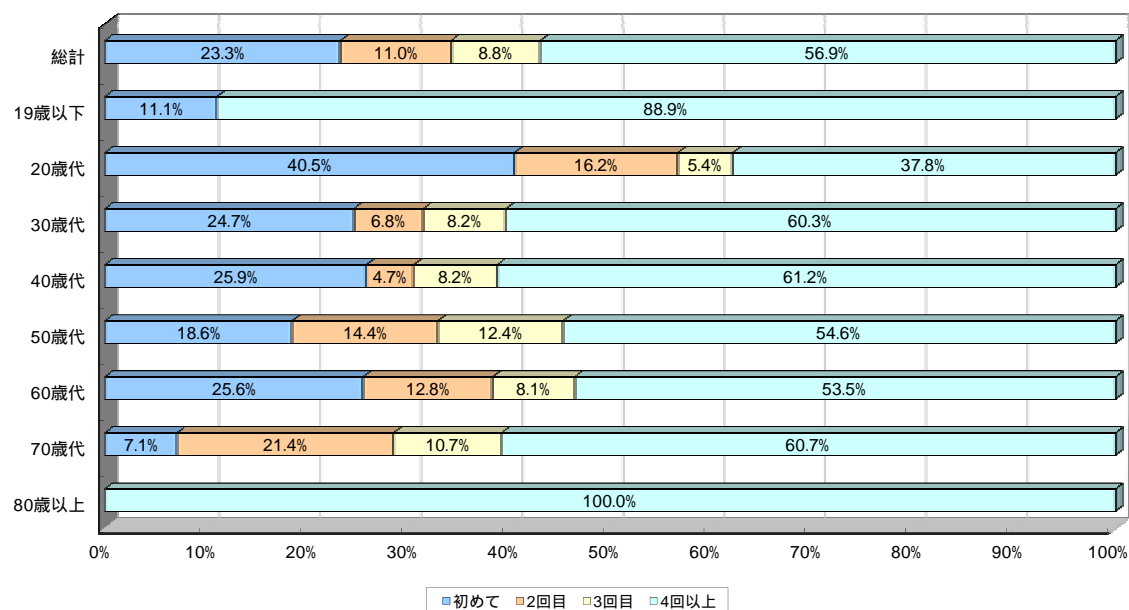
より具体的な来訪目的



自由記入していただいた来訪目的を整理した。

全体では「カニ・魚介類」を目的に来た方が30.3%いた。また、「石拾い」「石の鑑定」など、ジオパークを目的として来た方も18.2%いた。

7. これまでの来訪回数



全体

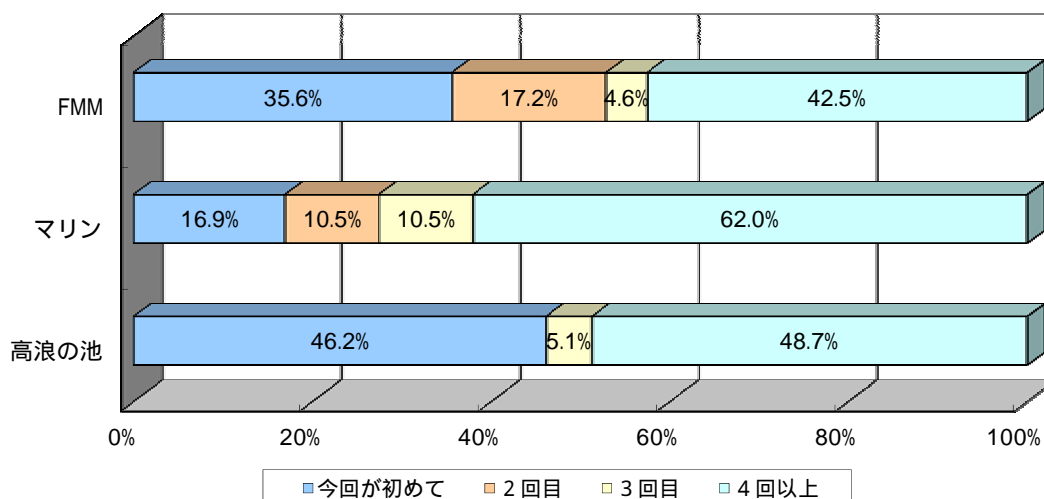
全体では、56.9%の方が「4回以上」糸魚川に来訪している。一方、「初めて」という方も23.3%いた。

年代別

20歳代は、40.5%が「初めて」で、「4回以上」は37.8%とわずかなではあるが、「初めて」の方が上回っている。

それ以外の年代では、数値のばらつきはあるものの、半数から6割以上の方が「4回以上」来ている。「初めて」という方は、30・40・60歳代では4分の1の方が「初めて」となっている。

調査ポイント別



フォッサマグナミュージアムでは、3分の2が2回以上の来訪で、リピーターの割合が多いことがうかがえる。

マリンドリームでは「4回以上」が62%（2回目・3回目を合わせると、83%）と、リピーターをしっかりと捕まえていることがうかがえる。

高浪の池では「4回以上」と初めての方がほぼ半々、という結果だった。